


令和8年度 木更津市立鎌足小学校 経営構想図

《鎌足小学校教育目標》



**「自分と仲間を大切にし、
粘り強く共に高め合う児童の育成 ～自立と共生～」**

「 夢 ・ 人 ・ 里 」 教育
 夢を抱き 人から学び 鎌足の里に生きる 教育の実践を図る

めざす児童像	めざす学校像	めざす教師像
<p><考える子></p> <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く学ぶことができる(主体的な学び) <p><温かい子></p> <ul style="list-style-type: none"> 粘り強くよりよい人間関係を築こうとすることができる(プラス思考・多様性の尊重) <p><たくましい子></p> <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く鍛えることができる(運動の継続化) 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が「明日も登校したい」と思える学校 ※「満足・納得の下校」「期待の登校」 保護者が「児童を預けたい」、地域が「協力したい」と思える学校 職員が「働きたい」と思える学校 	<ul style="list-style-type: none"> 研鑽と修養に努める教師 児童の心を理解しようと努める教師 児童の体力(＋耐力)向上に努める教師 

《鎌足小学校経営の基本方針》

- ・めぐまれた自然や小規模校(きさらづ特認校)という鎌足のよさを生かした教育を推進する。
- ・小・中学校9年間を見据えて小中の連携した教育活動を推進する。
- ・児童一人一人が生き生きと学び、学ぶ楽しさを実感できる魅力ある学校づくりを推進する。

《重点》

児童一人一人の学力の向上をめざす	倫理観や人を思いやる心など豊かな心の育成をめざす	健康・体力向上をめざす
<ul style="list-style-type: none"> 個別最適と協働のバランスのとれた授業改善を図る。(説明型一斉授業からの脱却) 家庭学習を定着させる。 個別指導の充実を図る。 豊かな自然と地域素材・地域の人を活かした教育の推進を図る。 体験学習の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動の充実を図る。 特別活動・行事等における交流学习及び縦割り班活動を推進する。 生活・総合・保体等で命の大切さを学ぶ学習を推進する。 「考え、議論する道徳」の実践を図り、年1回以上保護者に道徳の授業を公開する。 いじめ防止教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 正課時体育の充実を図る。(主運動の充実・教育の森の活用等) 体育行事(陸上・運動会・水泳・マラソン・縄跳び)を通して、体力向上を図る。 計画的に口腔衛生指導、フッ化物洗口を実施する。 食に関する指導の充実を図る。(食育・栽培して食す)
考える子	温かい子	たくましい子



《具体目標》

<ul style="list-style-type: none"> ・県標準学力テストで県平均に対して +1点 ・家庭学習の習慣化 学年×10分 ・学習規律・授業や指導への肯定的回答 (各項目 児童90%以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつができる (児童90%以上) ・いじめや言葉の暴力など、他人のいやがることをしない (児童80%以上) ・先生の言うことで傷つくことがある (児童15%以下) ・いじめ 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動能力証の合格率の向上 (35%を超える) ※昨年度31.7% ・熱中症対策の徹底 ・交通事故 0
<ul style="list-style-type: none"> ・学校に満足：児童90%以上 (昨年度86.9%)・保護者95%以上 (昨年度92.3%) ※安心できる学校←不安をもっている子に寄り添う姿勢 		

学校経営ビジョン

- ・地域、家庭、学校が一体となり、地域の特色を生かした教育活動を展開することにより、自分に自信を持ち、ふるさと鎌足に誇りがもてる児童を育てていきたい。(特認校制度利用家庭との連携を含む)
- ・「明日も学校に来たいと思える学校にしよう」を合い言葉に、自分と友達を大切に、温かく前向きな校風の学校をつくっていかうとする態度を育てたい。
- ・夢を持つこと、一生懸命に努力し頑張ることの大切さをすべての教育活動から学ばせたい。

①教育目標具現化の体制づくり	②信頼される職員を目指して	③安心・安全な環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> ◎報告・連絡・相談の徹底 ◎校内研修の推進 より深い学びを実現する国語科指導のあり方 ◎ICT教育の推進 ◎校務分掌の積極的、的確な推進 ・自己評価・学校評価の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◎人事評価・木更津システムの活用 ・校内研修の活用 ・若年層研修の推進(低・中・高部会) ・授業参観(家庭・地域に向けた道徳の授業公開を含む)の活用 ◎サービスの厳正並びに不祥事防止の徹底 ◎働き方改革の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎危機管理体制の確立と即対応 ・地域との連携による登下校の安全確保 ・危険箇所の把握と安全点検による安全管理 ・避難訓練の実施と自助力・共助力の育成 ・不審者対応のできる児童の育成
④生徒指導・特別支援教育の充実		⑤家庭・地域との連携と協働
<ul style="list-style-type: none"> ◎きめ細かい児童理解 (年3回の教育相談週間の実施) ・児童の実態を大事にした生徒指導研修の推進 (毎月1回の生徒指導会議) ・「児童を認め、励まし、支援する」学年・学級経営の充実 ・生徒指導の機能を生かしたわかる授業の実践 ◎特別支援体制による児童個々の実態に即した支援 ◎全教育活動を通じた「思いやりの心」の育成 ◎いじめ・不登校等の解消に向けた教育相談の充実と組織的対応 		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、地域との積極的な交流の推進 ・家庭、地域、学校が一体になった「あいさつ」運動 ◎<u>積極的な情報発信と授業及び学校行事等の公開</u> ・鎌足地区2校の共通課題解決のために、小中一貫した教育の推進 ◎<u>食育(学校給食を活用した地域活性化事業の推進)</u> ◎鎌足の里のよさや自然の美しさに触れる場の設定 ・環境支援、学校支援ボランティアの積極的な導入 ・教育活動における小・中と各関係機関との積極的連携 ・学校運営協議会との積極的連携